

取扱説明書

品番：BLP-X

オートブリッピング機能付きスロコン

3-DRIVE BLP-X

NDロードスター（MT車）専用品

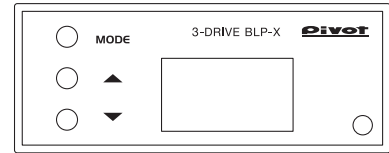
品番：**BLP-X**

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。

製品

+



目次

ご使用のまえに	1
製品の特長	2～3
特長	2
内容物	3
各部の名称	3
警告・注意	3
手順1 配線接続方法	4
手順2 製品の固定	5
手順3 初期設定（アクセル開度設定）	6

基本動作	7
スロコン操作方法	8～9
オートブリッピング操作方法	10～12
故障かな？と思ったら	14
表示の種類	15



装着後は必ず「初期設定」をする

製品装着後はクルマの特性を設定する「初期設定」（⇒6ページ）を必ず行ってください。「初期設定」を行わないとクルマ側の **チェックランプ** が点灯する場合があります。また、モード表示を換えても **ノーマル状態** のままです。

作業が不安な方

本製品は配線接続など一部専門知識が必要ですので、作業が不安な方は販売店にご相談ください。

専用ハーネスは付属品を使用

不具合の原因となりますので、専用ハーネスは付属品をご使用ください。

製品の取り外し時はノーマルモード

製品を取り外す時は、ノーマル（NORMAL）モードにしてください。
他のモードで接続すると、**チェックランプ**が点灯する場合があります。

製品改造の禁止

本製品の改造は、クルマ側の不具合や製品故障の原因となり、走行にも影響を及ぼしますので絶対にしないでください。

他のOBD製品との併用はできません。

ご使用の
まえに

製品の特長

配線接続
の方法製品の
固定初期設定
の注意

基本動作

操作方法

お困りの
ときは

特長

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定

基本
動作

操作
方法

お困り
のとき

ヒール&トゥを超えていくスロコン…

ギヤ比に応じた最適なブリッピングを自動制御!

オートブリッピング

メリット

- ・ヒール&トゥ操作が不要
- ・ブレーキとアクセル操作に集中できる
- ・電スロ車の回転上昇ズレを解消
- ・クラッチなどクルマへの負担を軽減

ブレーキ操作に集中できる

ヒール&トゥは操作が曖昧で操作時差が生じやすい一方で、オートブリッピングはギヤ比に応じた最適なブリッピングでブレーキ操作に集中できます。

ギヤ比（純正）に応じた制御

ギヤ比に応じ走行中のシフトポジションとエンジン回転から最適なブリッピング回転を制御。

見やすい表示

コントローラーは有機ELで夜間は自動減光し見やすい表示。

オーバーレブ防止

高回転でのブリッピングがレッドゾーンまでは回らないリミット制御でエンジン保護。

安全なシステム

ブリッピングは設定速度 (30、40、50km/h) 以上で動作し、低速や停止時は動作しません。

ブリッピングモード ON/OFF

ブリッピングモードはスイッチでON/OFF可能で、再始動時はエンジン停止前のモードを記憶。

ブリッピングレベル調整

クラッチを離すタイミングや道路状況などの好みに応じてブリッピングの強さは3段階の調整が可能。

スロットルコントローラー

アクセルの踏み込みに量に対するレスポンスが調整でき、お好みに応じた走行が可能。

スポーツモード

アクセルの全域のレスポンスを上げスポーツ走行に最適。

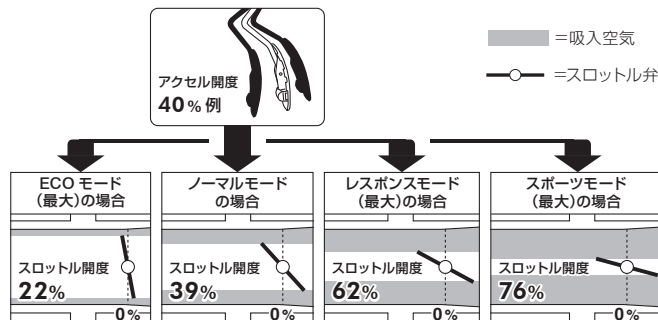
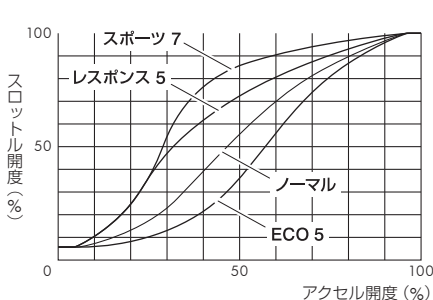
レスポンスモード

アクセルの0～中間域までのレスポンスを上げリニアなワイヤー スロットルのような特性。

ECOモード

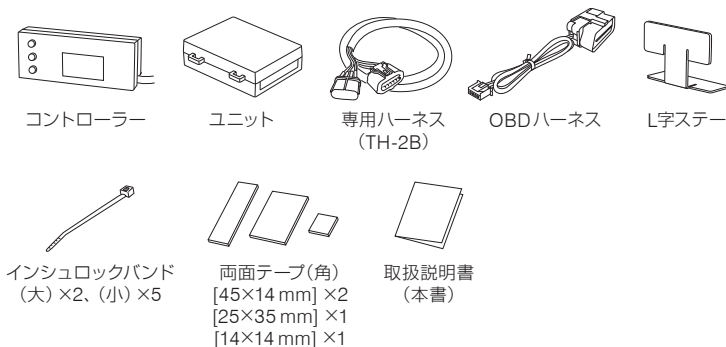
アクセルの全域のレスポンスを下げ加速調整しやすくエコ運転や急加速運転抑制に最適。

スロットル開度変化



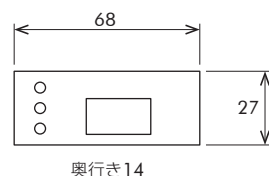
※ スポーツモードは7段階、ECOモード、レスポンスモードは5段階の調整が可能です。

内容物をご確認ください

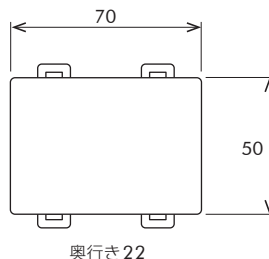


サイズ [単位:mm]

コントローラー

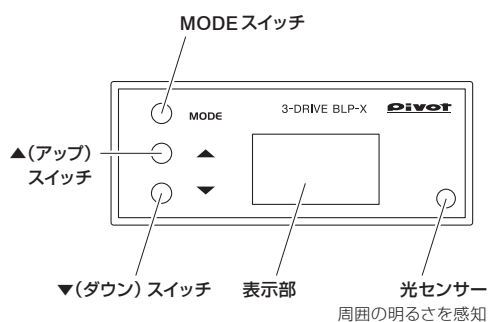


ユニット



各部の名称

● コントローラー



名称	操作	機能
MODE スイッチ	短押し	スロコンのモード切り換え
	長押し	プリッピングモードのON/OFF (2秒長押し)
▲(アップ) スイッチ	短押し	スロコンの変化率を上げる
	長押し	BLPレベル設定 (2秒長押し) BLP動作速度設定 (5秒長押し)
▼(ダウン) スイッチ	短押し	スロコンの変化率を下げる
	長押し	初期設定 (8秒長押し)

⚠ 警告

事故や人体へ危険を及ぼす可能性があります。

- 誤発進防止上、各作業中はエンジンを切りギヤをニュートラルにする。
- 排気ガス中毒防止上、換気の悪い場所ではエンジンをかけない。
- ショートによる火災防止上、各電線の被覆は破れないようにする。
- 交通事故防止上、運転や操作に支障のある場所に製品は装着しない。
- わき見運転防止上、製品操作や表示確認は短時間で行う。

⚠ 注意

車輛や製品故障、怪我の可能性あります。

- 本製品装着には専門知識が必要です。
- 故障防止上、製品改造は行わない。
- 間違った使用方法や製品故障による、事故、車輛故障、製品故障など一切のトラブルに弊社は責任を負いません。
- エンジンチェックランプが点灯した場合は製品使用を中止する。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定
⚠

基本
動作

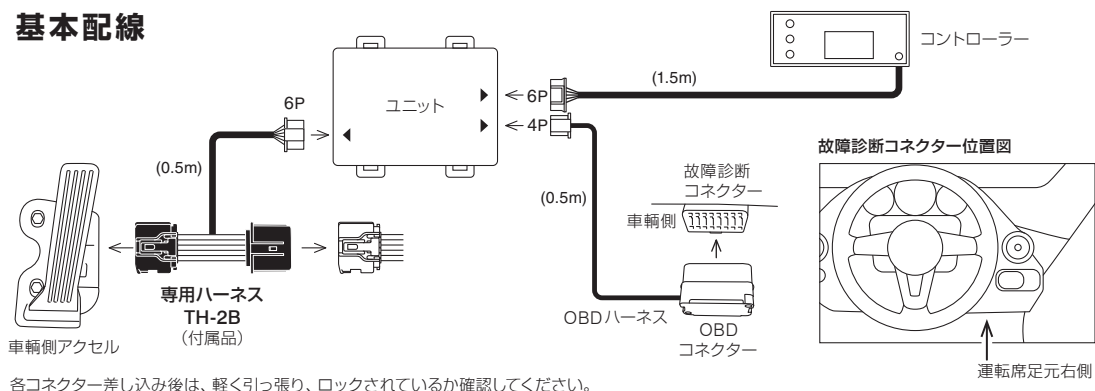
操作
方法

お困りの
ときは

手順 1

配線接続方法

基本配線



専用ハーネス装着方法

- ギヤをニュートラルにし、パワースイッチをOFFにしてからドアを開けた状態で15分以上待機する
チェックランプ点灯防止のため必ず行う。

ギヤをニュートラルにする

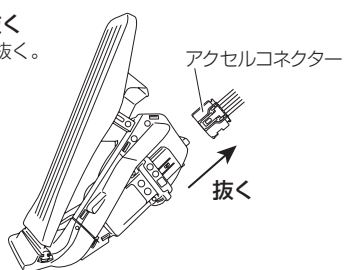
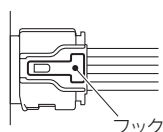


パワースイッチをOFFにする

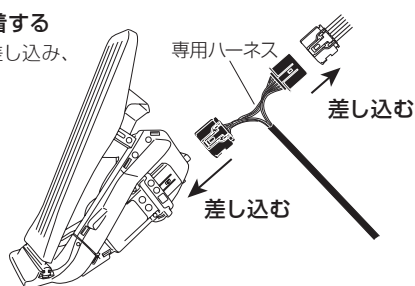


ドアを開け
15分以上経過（待機）

- アクセラコネクタを抜く
フック部を強く押して引き抜く。



- 専用ハーネスを装着する
コネクタは奥まで差し込み、確実に接続する。



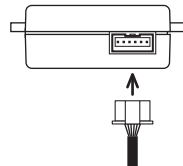
- アクセラペダルを元に戻す
六角ネジで確実に固定する。

チェックランプが点灯した場合の消灯方法 ⇒ 16 ページ

各コネクタの接続方法

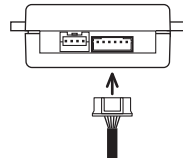
専用ハーネス

6P
コネクタ
ユニット側面へ
接続。



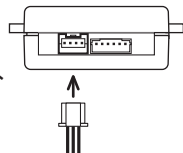
コントローラー

6P
コネクタ
ユニット側面へ
接続。



OBDハーネス

4P
コネクタ
ユニット側面へ
接続。



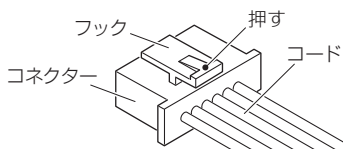
⚠ 各コネクタ脱着時の注意

装着時

フックの向きを合わせて
コネクタを持って差し込む

抜く時

フックを押しながら
コネクタを持って引き抜く



※ 抜く時コードは引っ張らない

ご使用の
まえに

製品の特長

配線接続
の方法

製品
の固定

初期
設定

基本動作

操作方法

お困り
のときは

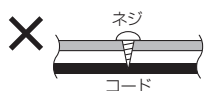
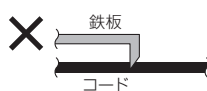
手順 2

製品の固定

⚠ コードは断線やショートなどを防ぐため下記の場所を避け引き回し固定してください。

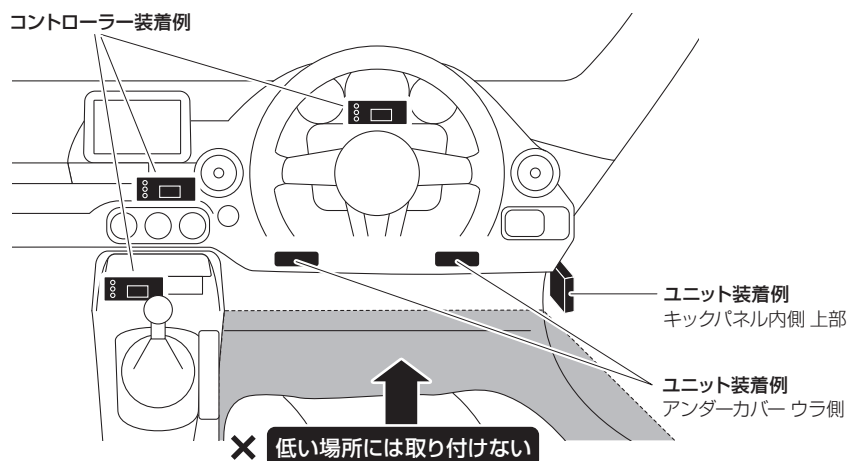
①鉄板の鋭角部やネジの尖った先端

②ハンドルを回し動くシャフトやチルトを上下し動く機構付近



装着場所例

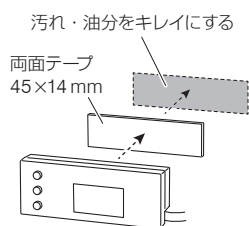
コントローラー装着例



コントローラーの固定

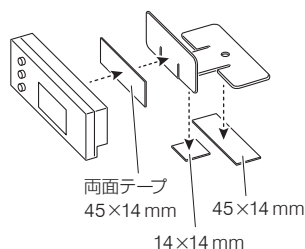
表示が見やすく操作しやすい場所に装着してください。

●直接装着する場合

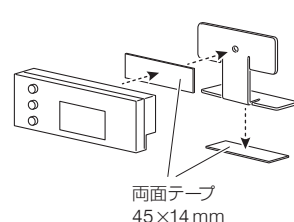


●L字ステーで装着する場合

低い位置に設置する場合



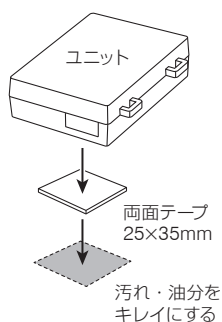
高い位置に設置する場合



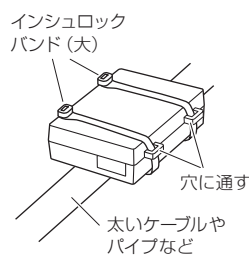
ユニットの固定

水のかからない場所に固定してください。

●平面に固定する場合

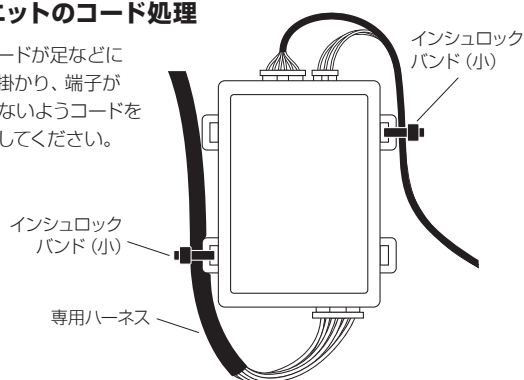


●ケーブルやパイプなどに固定する場合



ユニットのコード処理

各コードが足などに引っ掛かり、端子が抜けないようコードを固定してください。



ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定
⚠

基本
動作

操作
方法

お困りの
ときは

手順 3

初期設定 (アクセル開度設定) 必ず行ってください。

はじめて装着したとき



初期
設定

- この作業は、クルマのアクセル特性を製品に設定するためのものです。
- 設定を行わないと、モード表示を換えてもノーマル状態のままです。
- この作業を行わないと、チェックランプが点灯する場合があります。

初期設定作業のまえに



1. 設定はすべての配線 (コネクター装着) 後に行ってください。
2. 設定は **パワースイッチ ON** ・ **エンジンを始動しない** ・ ギヤ位置 **N** で行ってください。
ニュートラル

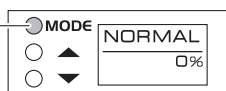
【設定方法】

- 1 車輻側の
パワースイッチをONにする
(エンジンは始動しない)



クラッチ踏まず
2回押す

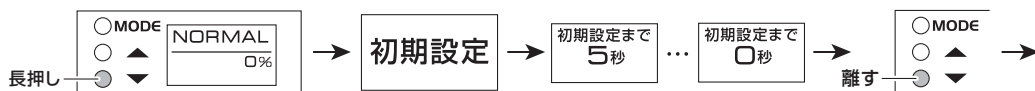
押して
離す



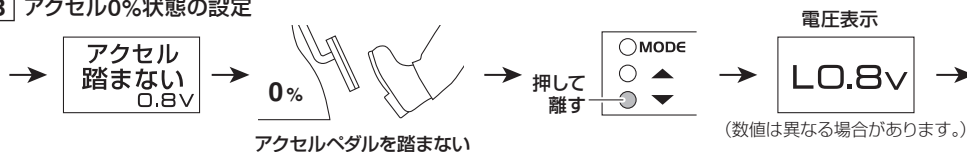
ノーマルモードにする

表示が「NORMAL」以外の場合は、
MODE スイッチを押し、
「NORMAL」にしてください。

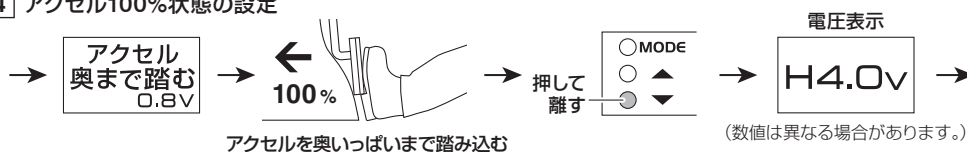
- 2 初期設定モードに入る (▼スイッチ長押し)



- 3 アクセル0%状態の設定



- 4 アクセル100%状態の設定

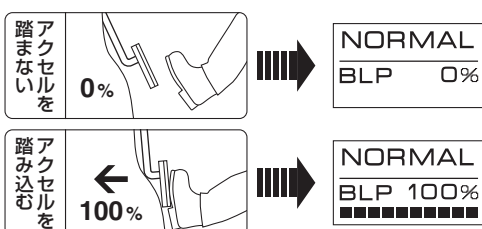


- 5 設定の完了



設定後にバッテリーや配線を外した場合の、
初期設定は不要です。

設定の確認 ※表示が違う場合は再度[2]から行ってください。



エラー表示になる場合

エラー

エラー表示後[3]の表示に戻る場合は
アクセル開度設定が確実にできてい
ません。もう一度[3]から設定をやり
直してください。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定

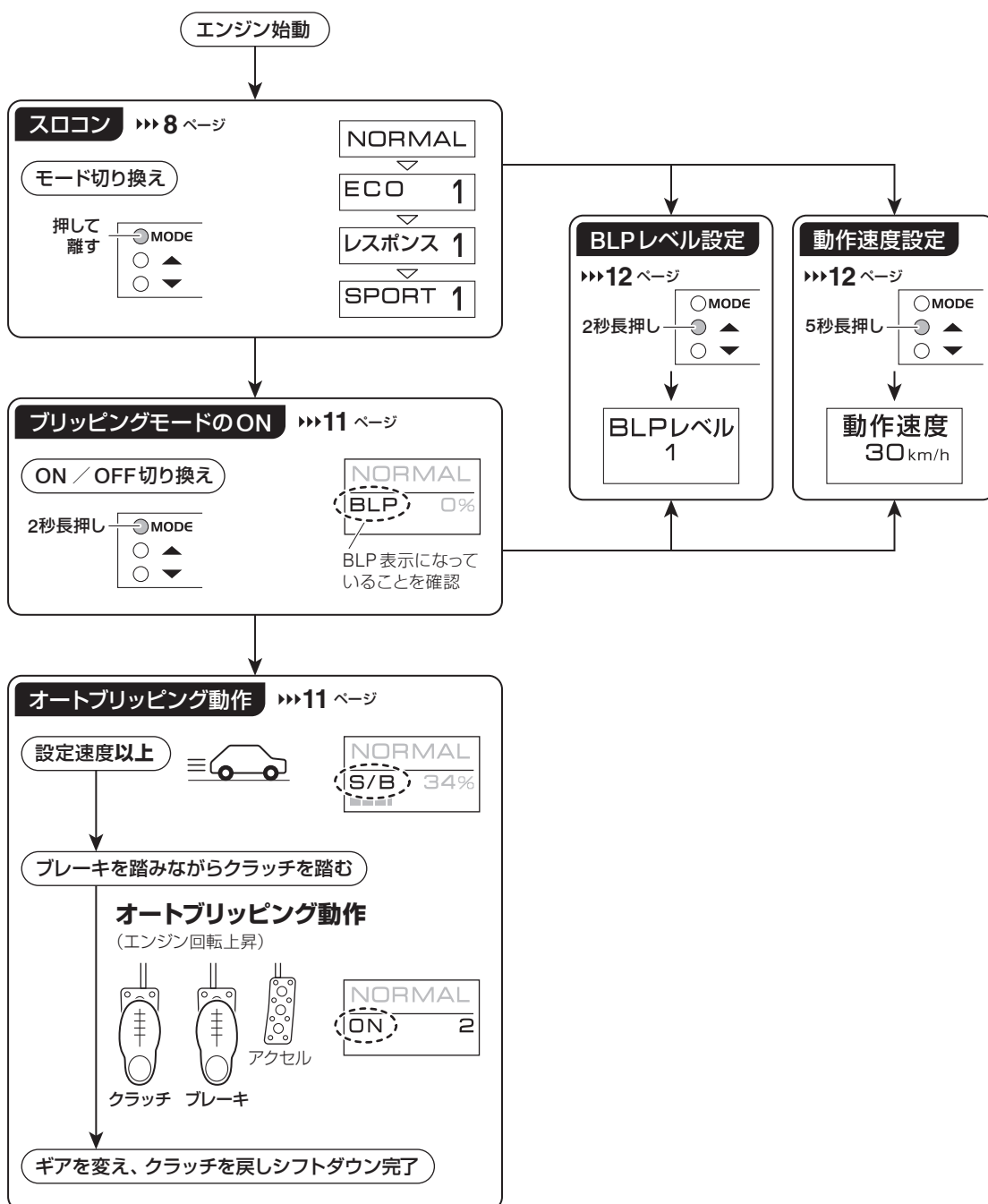
必ず
行って
ください。

基本
動作

操作
方法

お困り
の
ときは

基本動作



ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

⚠
初期
設定

基本動作

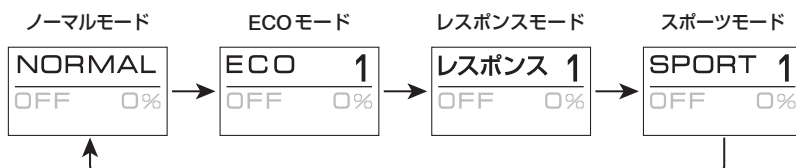
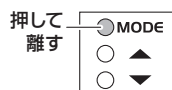
操作
方法

お困り
の
ときは

スロコン操作方法

モード切り換え

MODEスイッチ
押し、離すごとに
切り換わり

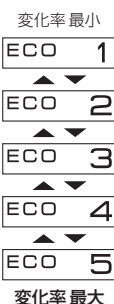


変化率の切り換え

各モード表示中に
▲(アップ) / ▼(ダウン) スイッチ
押し、離すごとに切り換わり



ECOモード
(5段階)



レスポンスモード
(5段階)



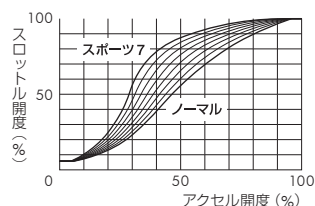
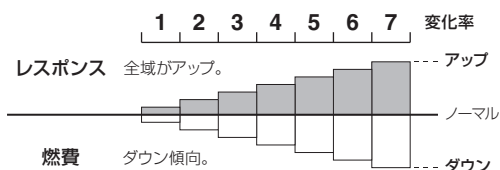
スポーツモード
(7段階)



各モードの特徴

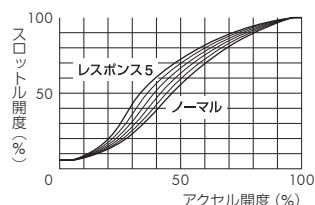
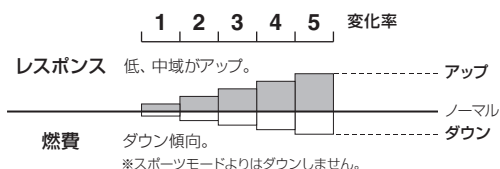
スポーツモード

サーキット
スポーツ



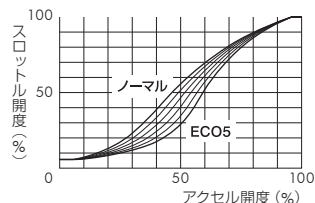
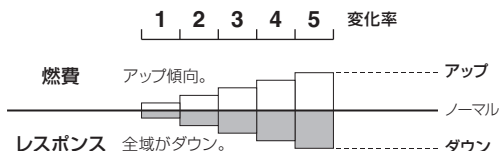
レスポンスモード

サーキット スポーツ
ワイヤー特性に近い



ECOモード

ECO運転 市街走行
渋滞走行 滑りやすい路面



- ・始動時のモードは、前回のモードとなります。
- ・モードの切り換えを行っても各変化率は変更されません。

※ ECOモードでは、純正状態よりもレスポンスを下げた低燃費走行が可能です。ただし、意図的に急加速運転をすると燃費は悪化します。

アクセル開度モニター アクセルの踏み込み量を表示します。(出力信号側)

- アクセル開度モニターはアクセルを踏まない状態を0とし、奥まで踏んだ状態を100として ECU 側に出力する開度率です。
- 0～100%まで1%単位で表示。



アクセル開度 (出力側)
67% 時

用途 1 エコ運転時のアクセル操作チェック

発進から加速時に低燃費となるアクセル開度は約15～25%以内です。エコ運転時はECOモードと併用されると効果的です。



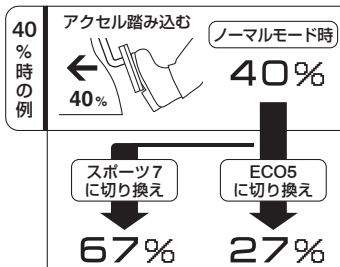
用途 2 運転中のアクセル操作チェック

ECOモード以外でもアクセル開度がチェックできますので各変化設定のチェックなどにご利用ください。

用途 3 制御状態のチェック

パワースイッチ ON (エンジン停止) 状態でノーマルモードでアクセルを40%まで踏み込み、モードをスポーツ7にすると表示は67% (出力67%) となり、ECO5では表示は27% (出力27%) となります。

※表示は多少異なる場合があります。



ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
方法

製品の
固定

！
設定
初期

基本
動作

操作
方法

お困り
の
ときは

オートブリッピング操作方法

⚠ 注意

- オートブリッピングはスポーツ走行時に有効な機能ですので、市街地などでは設定をOFFにしてください。
- オートブリッピングのBLPレベルが高すぎてクラッチを戻した時に多少加速する場合は、BLPレベルを下げてお使いください。

ブリッピングとは、ブレーキとクラッチを踏んだ時に下がったエンジン回転を上げる動作です。オートブリッピング時のエンジン回転の上昇は「BLPレベル設定（アクセル開度）」で調整し、動作する速度は「動作速度設定」で調整します。

オートブリッピングテスト 各配線と「初期設定」が完了してからテストを行ってください。



オートブリッピングテストは、歩行者や交通量の少ない、安全な広い場所で行ってください。本書をよくお読みいただき、操作方法をご理解の上で行ってください。

1

エンジン始動



2

「BLPレベル2」、「動作速度30km/h」に設定する

※詳しい設定方法は12ページをご覧ください

BLPレベル
2

動作速度
30 km/h

3

ブリッピングモードをONにする

2秒長押し



BLP表示になっていることを確認

4

走行開始（40km/h、3速以上）



5

ブレーキを踏みながらクラッチを奥まで踏む
（クラッチを踏んだ際の速度が30km/h以下にならないようにする）

6

オートブリッピング動作
（エンジン回転上昇）



❶ 動作しない場合

上記のとおり動作しない場合は、
右記をご確認ください

- 初期設定不良（⇒ 6ページ）
- 設定速度を超えていない（⇒ 12ページ）
- クラッチペダルの踏み込みが浅い
- ブリッピングモードがONになっていない

ブリッピングモードのON / OFF

1 エンジン始動



2 MODEスイッチを**2秒長押し**するとブリッピングモードのON / OFFが切り換わる

2秒長押し





ブリッピングモードOFF



ブリッピングモードON

- ブリッピングモードのON / OFFは記憶されます。
- スロコンはどのモードになっていても設定可能です。

動作方法

ブレーキを踏みながらクラッチを踏むと、自動的にブリッピングが動作します。

1 ブリッピングモードをONにする



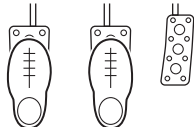
BLP表示になっていることを確認

2 走行開始（設定速度以上）



設定速度を超えるとS/B（スタンバイ）表示に変わる

3 ブレーキ踏みながらクラッチを奥まで踏む



4 オートブリッピング動作（エンジン回転上昇）



現在のBLPレベルを表示
オートブリッピング作動中はON表示に変わる

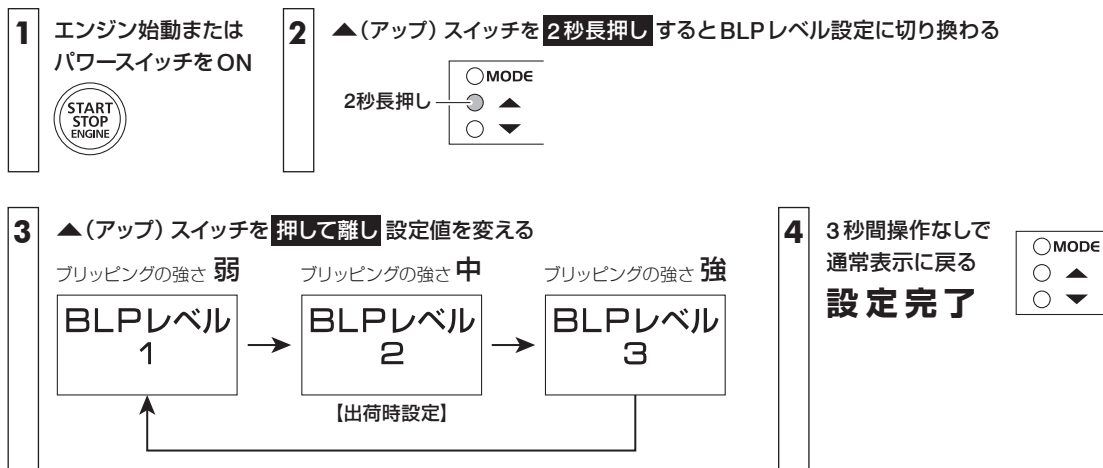
5 ギアを変え、クラッチ戻す（シフトダウン完了）




シフトダウン完了後
設定速度内の場合S/B（スタンバイ）に戻る

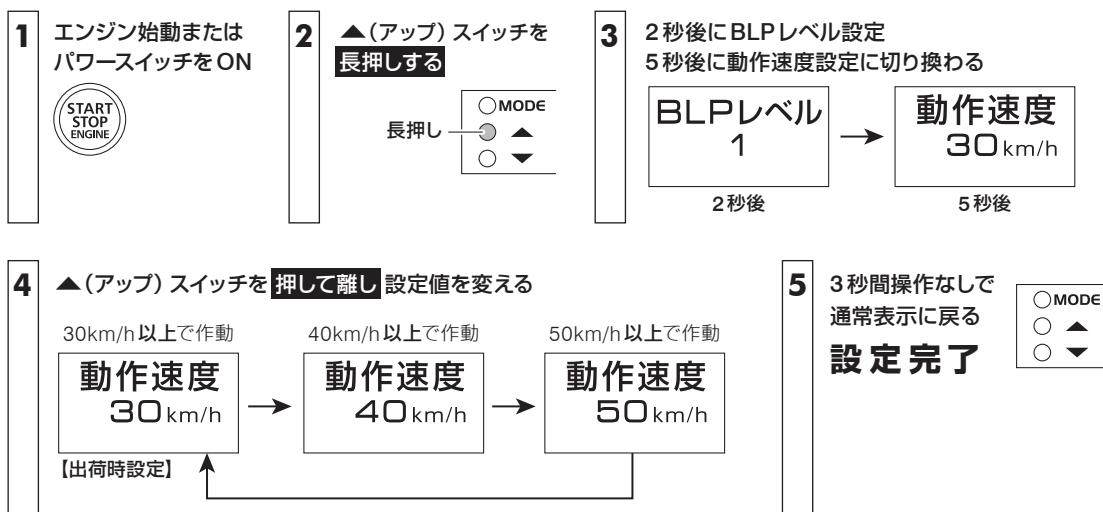
BLPレベル設定 オートブリッピングの強さを3段階で調整できます

オートブリッピングの強さを変更したい場合は、下記手順で「BLPレベル」の設定を変更してください。



動作速度設定 オートブリッピングが作動する最低速度を3段階で調整できます

オートブリッピングが作動する最低速度を変更したい場合は、下記手順で「動作速度」の設定を変更してください。



オートブリッピングの調整について

オートブリッピング時のエンジン回転の上昇は、クルマの性能や走行状況などにより異なりますが、基本的にはクラッチを戻した時に加速と減速が少なく、スムーズにシフトダウンできる状態が最適の調整値です。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線接
続方
法

製品の
固定

⚠
初期
設定

基本
動作

操作
方法

お困り
の
ときは

故障かな?と思ったら

基本動作と車輛関係

症 状	原 因	対 策
車輛側のパワースイッチをONにしても表示が点灯しない。	各コネクター の接続不良。	再度ご確認ください。
チェックランプが点灯した。 	「パワースイッチ ON」または「パワースイッチ OFF 後 15 分以内」に アクセルコネクター または 専用ハーネス を抜いた。	抜いたコネクターを元に戻し、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書 16 ページ)
	「初期設定」が行われていない。	「初期設定」(⇒ 本書 6 ページ)を行い、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書 16 ページ)
	ノーマルモード以外で取り外した製品を別のNDロードスターに接続した。	ノーマルモードに戻してから「初期設定」(⇒ 本書 6 ページ)を行い、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書 16 ページ)
初期設定中に「エラー」表示になる。	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒ 本書 6 ページ)
車輛側のパワースイッチを OFF にしても表示が点灯している。	本製品はクルマの ECU 電源に連動しています。そのため、パワースイッチ OFF から表示が消えるまで約 1 分かかりますが、正常な動作です。	

スロットルコントローラー関係

症 状	原 因	対 策
モード切り換えができない。	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒ 本書 6 ページ)
モードを切り換えても変化を体感できない。		

オートブリッピング関係

症 状	原 因	対 策
オートブリッピングが動作しない。	オートブリッピングモードを ON にしていない。	再度ご確認ください。(⇒ 本書 11 ページ)
	設定速度を超えていない。	再度ご確認ください。(⇒ 本書 12 ページ)
	クラッチスタートキャンセラーなどを接続している。	キャンセラーの取り外しが必要です。
	クラッチペダルの踏み込みが浅い。	クラッチペダルを奥まで踏んでください。

表示の種類

使用中の表示（オートブリッピング関連）

表示	説明
	オートブリッピングモードOFF (OFF表示)
	オートブリッピングモードON (BLP表示)
	オートブリッピング スタンバイ状態 (設定速度以上)
	オートブリッピング動作中 現在のBLPレベルを表示
	BLPレベル設定
	動作速度設定

設定中の表示

表示	説明
	初期設定モード
	アクセルを踏まない位置の電圧 ※数値は異なる場合があります。
	アクセルを奥まで踏んだ位置の電圧 ※数値は異なる場合があります。

使用中の表示（スロットルコントローラー関連）

表示	説明
	スポーツモード 7段階 (数字が大きい＝レスポンスが高い)
	レスポンスモード 5段階 (数字が大きい＝レスポンスが高い)
	ECOモード 5段階 (数字が大きい＝レスポンスが低い)
	ノーマル(純正状態)
	アクセル開度表示 (0～100%まで1%単位で表示)

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定
⚠

基本
動作

操作
方法

お困りの
ときは

ご使用の
まえに

製品の特長

配線接続
の方法

製品の
固定

初期設定
の注意

基本動作

操作方法

お困りの
ときは

輝度自動調整

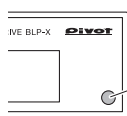
表示の輝度は、下記の条件で自動調整されます。

●周囲の明るさに応じた調整

夜間の眩しさを軽減

●周囲温度に応じた調整

表示体の性能低下防止



光センサー
周囲の明るさを感じ

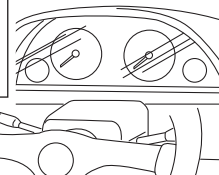
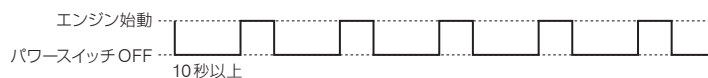
■現在の輝度の確認方法 ※通常必要ありません。

ノーマル以外の表示中に▼(ダウン)スイッチを3秒長押しで現在の輝度を表示し、5秒間操作なしで通常表示に戻る。

100%	75%	60%	20%
D-10	D- 8	D- 6	D- 2

チェックランプ消灯方法

① パワースイッチを10秒以上OFF後、エンジン始動する操作を5回以上繰り返す。



② ①で消灯しない場合は、バッテリーの⊖端子を約10分外し元に戻す。

③ ①②で消灯しない場合は、カーディーラーなどで消灯作業を行う。

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれています。

※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。

※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。